

啓発資料（ビデオ）の作成

1 啓発資料（ビデオ）の作成目的

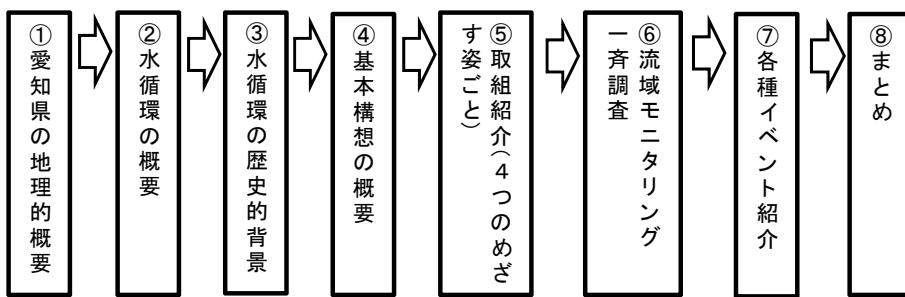
各団体の取組みが水循環再生においてどのような役割を果たしているのかを理解することが難しく、個々の活動のつながりが水循環再生に重要な役割を果たしていることを理解してもらうとともに、県民の理解を広め県下全域へと活動を広げることを主たる目的とする。

ビデオの活用は、各構成員が実施するイベントに使用してもらうとともに、インターネットからも配信する。そして、ビデオは、中学生以上の方に理解を深めてもらう内容となっているが、小学生においても、平成22年度に作成したパンフレット（とりもどそうよ！健全な水じゅんかん）と併用しながら使用することにより、理解を深めてもらうことができる。

2 啓発資料（ビデオ）の内容

水循環（雨→山→川→海→蒸発→雲）の理解を深めるために各種団体の取組み内容を、水の流れや基本構想のめざす姿のナレーションを入れながら説明する。

内容については、下記の構成を基本とし、各図を説明しつつ、各取り組みの活動状況の動画や写真を交えたものとなっている。



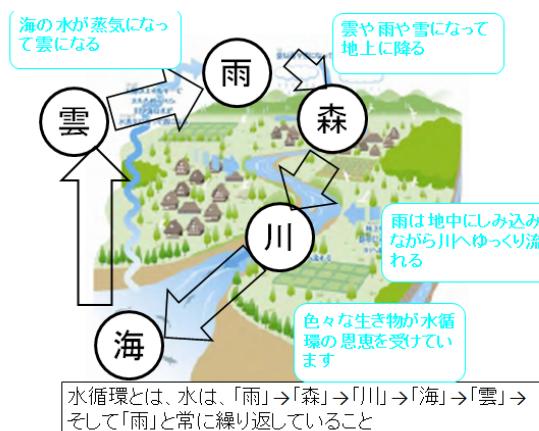
① 愛知県の地理的概要

愛知県の地形の概要を説明。山川海と自然環境が豊富であるなど。



② 水循環の概要

水循環とは、水は、「雨」→「森」→「川」→「海」→「雲」→そして「雨」と常に繰り返していることなどを説明。



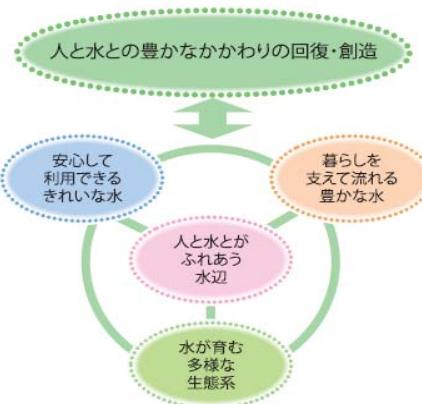
③ 水循環の歴史的背景

水循環に関する問題発生（水の汚れ、荒れる森林など）について説明。



④ 基本構想の概要

基本構想の目標と4つのめざす姿について説明。



⑤ 取組紹介（4つのめざす姿ごと）

4つのめざす姿ごとに主な取り組みを紹介。

1 「きれいな水」にするために

きれいな水にするために、下水道の整備や合併処理浄化槽[※]の整備など、さまざまな取り組みをしています。
※合併処理浄化槽：下水道に接続されていない地域で、家庭からの水をきれいにする機能の設備です。

下水処理のしくみ

処理場に運ばれた下水の中の大きなゴミや砂をさくめて取りのぞきます。
微生物が水のよこれを食べ、かたまりとなってしまいます。

きれいになつた水を、川や海に流します。

2 「豊かな水」にするために

水を貯える森の手入れや田んぼやため池を保全します。また、地中に水が浸み込むように、透水性舗装の歩道にするなどの取り組みをしています。

手入れ不足の森林

間伐した森林

生き物の棲みやすい川づくり

3 「いろいろな生き物が棲める水辺」にするために

川や海の生き物が棲みやすいように、自然がたくさんある川や海づくりなどの取り組みをしています。

生き物の棲みにくい単調な川

生き物の棲みやすい川づくり

4 「ふれあえる水辺」にするために

みんなが水辺に近づき、遊べるようになりますため、川岸に階段をつくるなどの取り組みをしています。

水辺で遊べる川づくり

水辺に近づける川づくり

⑥ 流域モニタリング一斉調査

流域モニタリング一斉調査の調査項目や調査票などについて説明。

調査項目	調査項目ごとの評点					評点 平均点
	5	4	3	2	1	
1. 水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	点
2. 水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	点
3. 水のにおい	においを感じない	中間	いやなにおいを少し感じる	中間	いやなにおいを強く感じる	点
4. 水に浮いた油や泡	泡はない 油のまくはない	中間	泡がある 油のまくがある	中間	泡が多い 油のまくが多い	点
5. 水の底の感しよく	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちがわるい	点
6. COD [※] パックテスト [※] 調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lを超える	点



⑦ 各種イベント紹介

「干潟の生きもの観察会」「間伐体験」「水生生物調査」「海岸の清掃活動」「有識者を招いてのシンポジウムの開催」などのイベントを写真や動画を交えて紹介。



⑧ まとめ

県民に問いかけるように、大切な水を守るためにできることを説明。健全な水循環を取り戻すために、私たちにできることから1つ1つ行動していきましょう。人と水とが豊かな関わりを持ち、健全な水循環を取り戻していきましょう。など

水を大切にしましょう。

油残りや残飯を直接流さないようにしましょう。

ゴミは持ち帰りましょう。

外来種を持ち込まないようにしましょう。

地元でとれたものを積極的に食べましょう。